

07:55 <QUICK>アーツ証、「日経平均の理論株価からの乖離は長期化の様相。海外要因の悪影響から10月末で8500円、11月末でも9000円を睨んだ展開か」—QUICKコンセンサス2011年10月分析 11/10/06 EOR1406

アーツ証券の株式調査レポート：2011年9月末時点のQUICKコンセンサス予想に基づいた「運用責任者（CIO）のための運用意思決定モデル」分析結果

・日経平均の理論株価

	8月末	9月末	変化率
日経平均	8,955.20	8,700.29	-2.85%
6年モデル	12,106.88	12,040.97	-0.54%
8年モデル	14,095.20	13,969.13	-0.89%
10年モデル	16,398.47	16,191.54	-1.26%

<日経平均コメント>

2011年9月の大型株相場は、月初からいきなり下落して始まり、その後は一進一退の展開を繰り返し、月末にやや戻して引けた。今月も引き続きギリシャの財政破綻の取り扱いに振り回された展開となった。日経平均は月初めの9060円が高値となり26日に8374円の安値を付け、その後やや回復して月末は8700円で引けた。一方、QUICKコンセンサス予想に基づいた日経平均の理論株価（8年モデル）は2011年9月末時点で1万3969円、理論株価の割高ゾーンを示す10年モデルは1万6191円、割安ゾーンを示す6年モデルは1万2040円となり、10年モデルは先月から1.26%下落し、8年モデルは0.89%、6年モデルは0.54%の下落となった。一方、9月末の日経平均は、8700円と先月から2.85%の下落となった。理論株価は、最近の5ヶ月は、ほぼ横ばいで推移しているものの、株価が再び下落し、理論株価とのギャップは先月以上に拡大した。企業業績には、大きな悪材料はないものの、世界経済の破綻にも繋がりがかねない多くの海外要因により、株価の低迷は長引くものと思われる。したがって、日経平均の10月末で8500円、11月末で9000円を睨んだ展開になるとと思われる。

・セクター評価

	理論株価（割安度）		業績変化		推奨変化	
	先月	今月	先月	今月	先月	今月
日経225	○	○	×	×	△	△
資源	○	○	×	×	×	○
素材	○	○	×	×	○	○
産業	○	○	○	×	○	○
消費	○	○	×	×	×	×
安定	○	○	×	△	×	×
医療	×	×	×	×	○	×
IT	○	○	×	×	×	○
金融	○	○	△	△	△	△
通信	○	○	○	△	×	×
公共	○	○	×	×	△	×

理論株価

○：理論株価と比較して割安  
△：理論株価と比較して同程度  
×：理論株価と比較して割高

業績、アナリスト推奨の変化

○：コンセンサスが上方修正  
△：コンセンサスが同程度  
×：コンセンサスが下方修正

<セクターコメント>

9月末の日経平均は、引き続き理論株価が横ばいで株価が下落したことから割安ギャップは更に拡大した。理論株価から見たセクターの割安・割高は全く変化が見られなかった。業績の変化は、産業、通信でやや悪化したものの、安定でやや好転した。一方、アナリストによる推奨の変化は、医療、公共でやや悪化したものの、資源、ITでやや好転した。

「10セクターの東証33業種分類」

- 1 資源 : 鉱業、石油・石炭製品
- 2 素材 : パルプ・紙、化学、ゴム製品、ガラス・土石製品、  
鉄鋼、非鉄金属、金属製品
- 3 産業 : 建設業、機械、その他製品、陸運業、海運業、  
空運業、倉庫・運輸関連業、卸売業
- 4 消費 : 輸送用機器、小売業、サービス業
- 5 安定 : 水産・農林業、食料品、繊維製品
- 6 医療 : 医薬品
- 7 IT : 電気機器、精密機器
- 8 金融 : 銀行業、証券業、保険業、その他金融業、不動産業
- 9 通信 : 情報・通信業
- 10 公共 : 電気・ガス業

問い合わせ先 :

アーツ証券株式会社 (5542-8091) もしくはインタートレード投資顧問株式会社 (3537-6511)